

新書体デザイン・アウトラインフォント
デザインコンペティション
応募要領

財団法人 日本規格協会
文字フォント開発・普及センター

コンペの目的

印刷物やテレビジョンに始まった情報メディアは、通信ネットワーク、データバンク、電子出版などへと展開をみせ、高度情報化社会の核としてますます多様化し拡大しつつあります。これに伴い、文字フォントの流通が日本語ワードプロセッサ、デスクトップパブリッシング、自動翻訳システムなどにまで広がり、文書の作成や情報交換などへのディジタル文字の大衆化傾向が進んでいます。

一方、ディジタル文字の開発は、現在各所様々な形で行われていますが、利用者が自由に利用できる環境にあるとは必ずしも言えません。そこで、文字の健全な普及・流通を目的として財団法人日本規格協会内に文字フォント開発・普及センタを設立しました。

文字フォント開発・普及センタでは、次のことを行います。

- (1) 文字フォントライブラリ制度を確立し、各種の文字フォントを広く健全に流通・普及できる場や環境の整備。
- (2) 実用性と普及性のある代表的書体の高品位な文字フォントの開発・普及
- (3) 文字フォントの権利保護に関する調査研究
- (4) 文字フォントに関する各種調査

文字フォント開発・普及センタでは、上記事業の一環として、1990年3月を目処に、

・ J I S X 0208 情報交換用漢字符号系で規定されている文字の明朝体

・ 上記明朝体と混在して使われる角ゴシック体

・ J I S 制定予定の情報交換用補助漢字符号で規定される文字の明朝体

の約20000字を開発します。

この開発に当たって、広く開発者を募集し、コンペティションを行って発注先を決定致します。

1988年12月9日

財団法人日本規格協会

文字フォント開発・普及センタ

開発委員会委員長 片岡 脩

窓口

財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センタ『文字開発コンペティション事務局』

〒107

東京都港区赤坂4丁目1-24 Tel. 03-583-8001

担当者：吉田・池田

應募資格

- (1) 文字フォント開発・普及センタの趣旨に賛同し、文字の健全な流通と普及に協力される方。
 - (2) 文字フォント開発・普及センタの指定日時（約1年）までに、指定した文字のデザインとベクトル表現のデジタル文字を作成する能力のある方。
 - (3) 文字の開発にあたって、文字フォント開発・普及センタの定める委託契約を満足される方。

上記3点を満足すれば、個人またはグループ、国籍、その他の特別な制限はありません。

応募の単位

明朝体とそのベクトル文字の対、もしくは角ゴシック体とそのベクトル文字の対を応募の単位とします。両方に応募する場合は、応募用紙（5枚組）を複写して、書体別に提出して下さい。

選考方法

応募用紙の所定事項を記載の上、応募していただきます。当センタでは、応募資格の(1)～(3)を基準に選考し、明朝体および角ゴシック体のコンペティションを行って頂く方を決定します。(一次選考)

コンペティションは、まず明朝体について行ない、続いて明朝体と混在し使われる角ゴシック体のコンペティションを行ないます。

コンペティションに指名された方は、指定期間内に文字デザインその他の作品を作成して頂きます。提出して頂いた作品に基づき、当センタで審査し、当センタの必要とする文字の発注先を決定致します。（二次選考）

*****一次選考*****

應夢方法

当センターの指定する応募用紙に所定事項を記入のうえ、当センター窓口に持参または郵送して頂きます。（応募用紙は窓口までお申し出下さい。郵送致します。）

緒切曰

1989年 1月10日(火曜日)午前10時。(窓口必着)

発表

1989年1月10日(火曜日)午後5時、日本規格協会本部に掲示。応募者には別に通知。

*****~~二次選考~~*****

応募課題

二次選考（コンペティション）では、当センタの指定する仕様に基づき、普遍性・実用性のある未発表のオリジナルデザインで、

- (1) デザイン文字
- (2) 組見本
- (3) アウトライン文字

等を制作・提示して頂きます。

詳細は、別添のコンペティション仕様書を参照下さい。

明朝体の部

締切日およびプレゼンテーション

1989年2月24日（金曜日）午前10時より、日本規格協会本部において1応募者（グループ）20分のプレゼンテーション（デザインコンセプト、特徴等）を行なって頂きます。

コンペティション仕様書に基づく制作品は、その時ご持参頂き、提出して頂きます。

発表

1989年3月3日（金曜日）午後5時。日本規格協会本部に掲示。応募者には別途連絡。

角ゴシック体の部

明朝体の提示日

本ゴシック体と混在して使用する明朝体の見本を、1989年3月6日（月曜日）午前10時より貸し出し致します。直接貸し出しを受けられる方は、日本規格協会本部までお越し下さい。郵送を希望される方は、その旨窓口までお申し出下さい。

なお、貸し出した明朝体見本は、プレゼンテーション時に持参の上、返却下さい。

審査日およびプレゼンテーション

1989年4月21日（金曜日）午前10時より、日本規格協会本部において1応募者（グループ）20分のプレゼンテーション（デザインコンセプト、特徴等）を行なって頂きます。コンペティション仕様書に基づく制作品は、その時ご持参頂き、提出して頂きます。（貸し出した明朝体見本もご持参の上、返却下さい。）

発表

1989年4月28日（金曜日）午後5時。日本規格協会本部に掲示。応募者には別途連絡。

共通事項

制作料

二次選考の仕様を満足した応募作品に対して、明朝体の部、角ゴシック体の部とも1応募者（グループ）当たり200万円の制作料を支払います。
具体的な支払い方法については、プレゼンテーション時に連絡致します。

権利関係

二次選考応募作品で提出されたデザイン文字のすべての権利は、応募者に帰属します。ただし、二次選考の結果、当センタの開発する文字の発注先になられた方に対しては、発注に当たって、別途定める委託契約による権利関係が発生します。

なお、明朝体の発注先になられた方は、二次選考応募作品を、後で行なう角ゴシック体の二次選考応募者への、見本として貸し出すことを了承して頂きます。

制作品の返却

- (1) 一次選考の応募で提出された作品は、一次選考の発表日時以降、引き取りもしくは郵送で返却致します。
- (2) 二次選考の制作品は、発注先になられた方のものを除き、二次選考の発表日時以降、引き取りもしくは郵送で返却致します。（返却方法は、プレゼンテーション時に打合わせさせて頂きます。）
- (3) 発注先になられた方の制作品は、返却致しません。

仕様書要約

1. コンペティション仕様書

(1) 書体

明朝体 もしくは 角ゴシック体

(2) 文字種

200文字(漢字、仮名、数字、約物等)

(3) 字体

JIS X0208-1983 の例示明朝体字体に準拠する。

(4) デザイン仕様

文字の仮想ボディを2インチとして、仮想ボディ内にデザインする。

(5) 適用範囲

明朝体は、本文用を主体とし、角ゴシック体は、本文 及び 見出しにも使用できるものとする。また、すべての文字は、全角、固定ピッチ・ベタ組で使用可能なものとする。

(6) 提出物

① デザイン文字

指定文字種200字を指定レイアウト、指定配列にしたがって、20字1シートとした印画紙 または ポジフィルムで提出する。

② 組見本

指定文章を指定サイズで組見本としたものを提出する。

③ アウトライン文字サンプル

指定文字種10字を100mm以上の文字サイズとして、文字のアウトライン(輪郭)の形状で出力したものと提出する。

2. 発注仕様書

(1) 書体

コンペ決定による明朝体、角ゴシック体とする。

(2) 字体

JIS X0208-1983 の例示明朝体字体に準拠する。但し、情報交換用補助漢字符号系の字体については、後報とする。

(3) 文字種

① 明朝体 13,039字

JIS X0208 (JIS第1水準)	2,965字
JIS X0208 (JIS第2水準)	3,388字
JIS X0208 (非漢字)	524字
JIS X9052 (縦書き用文字)	53字
情報交換用補助漢字符号系	6,109字

② 角ゴシック体 6,930字

JIS X0208 (JIS第1水準)	2,965字
JIS X0208 (JIS第2水準)	3,388字
JIS X0208 (非漢字)	524字
JIS X9052 (縦書き用文字)	53字

* 上記以外の文字種の追加発注を行なうこともあります。

(4) デザイン仕様

文字の仮想ボディを2インチとして、仮想ボディ内にデザインする。

(5) 適用範囲

明朝体は、本文用を主体とし、角ゴシック体は、本文 及び 見出しにも使用できるものとする。また、すべての文字は、全角、固定ピッチ・ベタ組で使用可能なものとする。

(6) 納品物

① デザイン文字

指定文字種を指定レイアウトにしたがってJISコード順に配列し、20字 1シートとした印画紙およびポジフィルムで納品する。

② デザイン原字

デザイン文字のオリジナルであるデザイン原字を納品する。

③ マスタデジタルフォント

所定のフォーマットによるデジタルフォントをフロッピーディスクで納品する。